

# 第1回 ベルカントオペラフェスティバル in JAPAN

藤原歌劇団×ヴァッレ・ディトリア(マルティーナ・フランカ)音楽祭 提携公演

# フランチェスカ・ダ・リミニ

S.メルカダンテ作曲 オペラ全2幕〈セミ・ステージ形式／字幕付き原語上演〉ニュープロダクション  
S.Mercadante : FRANCESCA DA RIMINI Opera in 2 Acts in Original Language (Semi Stage Style)

日本初演

ダンテの「神曲」に材を得た有名な悲恋物語が、メルカダンテの甘美なメロディとともにここに蘇る



指揮／セスト・クワトリニ 演出／ファビオ・チェレーザ  
Conductor: Sesto QUATRINI Stage Director: Fabio CERESA

フランチェスカ Francesca	レオノール・ボニツジャ Leonor BONILLA	パオロ Paolo	アンナ・ペンニージ Anna PENNISI	ランチョット Lanciotto	アレッサンドロ・ルチアーノ Alessandro LUCIANO
ガイド Guido	小野寺 光 Hikaru ONODERA	イザウラ Isaura	楠野 麻衣 Mai KUSUNO	グエルフォ Guelfo	有本 康人 Yasuto ARIMOTO
合唱 藤原歌劇団合唱部	舞踊 五十嵐 耕司 岩瀬 紗也加 岩瀬 光世 中山 由紀 根岸 みゆ 廣瀬 知恵	管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団	STAFF 合唱指揮: 河原 哲也 衣裳: ジュゼッパ・パレツァ 照明: 辻井 太郎 映像: フィリッポ・マルタ	振付: マッティア・アガティエロ 舞台監督: 八木 清市 副指揮: 安部 克彦 演出助手: 久恒 秀典	

2019年 3月27日(水) 14:00 テアトロ・ジューリオ・ショウワ  
Teatro Giglio Showa (小田急線・新百合ヶ丘駅南口より徒歩4分)

\*13:00開場。13:15より会場にて作品解説をいたします。 上演時間: 約3時間40分

S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥3,000 (税込) 好評発売中!!

◆ヤング・フレッシュマンチケット: S・A席は半額(25歳以下/枚数限定) \*特別割引につきましては、日本オペラ振興会チケットセンターのみで取り扱い。詳細はお問い合わせください。  
◆障がい者割引: S・A席は20%割引(要お問合せ/枚数限定)

お問い合わせ・予約 日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日10:00~18:00) <https://www.jof.or.jp>

チケットぴあ <http://t.pia.jp> 0570-02-9999 (Pコード: 136-029)  
イープラス <http://eplus.co.jp>  
【窓口のみ】 昭和音楽大学チケットセンター(昭和音楽大学南校舎内 10:00~18:00/12:00~13:00及び土・日・祝除く)  
昭和音楽大学北校舎(10:00~18:00/12:00~13:00及び土・日・祝除く)

作曲 サヴェーリオ・メルカダンテ (1795—1880) Saverio Mercadante

台本 フェリーチェ・ロマーニ (1788—1865) Felice Romani

1 1975年から毎年夏に南イタリアのマルティーナ・フランカで開かれる〈ヴァッレ・ディトリア音楽祭 Festival della Valle d' Itria〉は、〈マルティーナ・フランカ音楽祭〉とも呼ばれ、有望な若手を登用して世界に送り出していることでも知られています。

サヴェーリオ・メルカダンテ(1795-1870)は、ベッリーニ、ドニゼッティらと同時代の作曲家。2016年にこの音楽祭で「作曲家没後150年」を記念して世界初演されたのが、この「フランチェスカ・ダ・リミニ」です。

今回は、2016年の世界初演でタイトルロールを歌って絶賛されたスペインのソプラノ、レオノール・ボニツジャが再びこの役を演じます。ランチョット役には、ローマ出身で俳優としても活躍し、ベルカント・オペラから現代ものまで幅広いレパートリーを持って活躍しているテノール、アレッシンドロ・ルチアーノが初来日。パオロ役には、近年頭角を現してきたシチリア出身の若手メゾ、アンナ・ベンニージ、フランチェスカの父グイドには2017年にこの音楽祭に出演した経験のある小野寺光が抜擢されました。指揮者のセスト・クワトリーニは、この音楽祭やメトロポリタン歌劇場でファビオ・ルイーゼのカヴァー・コンダクターを務め、オペラ指揮者として着実にそのキャリアを重ねつつあるイタリアオペラ界の期待を集める指揮者、ファビオ・チェレーザは、2016年に若手オペラ演出家アワードを受賞した気鋭の演出家です。次世代のオペラ界を担う若い力を結集させたこの公演に、どうぞご期待ください。

## 見どころ・聴きどころ

このオペラの主役たちには、ベルカント・オペラ独特の美しく憂いを含んだメロディーと、高度な歌唱技巧が求められる大きなアリアがいくつも用意されていて聴きどころが満載です。

第1幕の幕開きで帰還したランチョットが高らかに歌うカヴァティーナ「高潔な戦士にとって快いのは」では、その後半で妻に愛されない苦悩が綴られていきます。フランチェスカがパオロと恋人だった頃を懐かしむ「彼と私は小川のほとりの草の上に座り」は、切なさの溢れるカヴァティーナ。戦場での死を望んでも果たせずに戻ってきたパオロが歌うカヴァティーナ「おお、平和よ、どれほどの感謝を！」も複雑な心境を描き出さねばならない難しいアリアです。そしてここから物語は一気にドラマティックな展開を見せます。本を読みながらフランチェスカとパオロの恋心が再燃する、物語のキーポイントとなる美しいシーンが「グィネヴィアの隣に座って騎士は」から始まります。

第2幕では、妻に裏切られ復讐心に燃えつつも妻への愛を断ち切れないランチョットの悩める男の「願ったのだ、愛の神と婚姻の神に」、投獄されるフランチェスカの「これが最後の涙よ」は、どちらも実にドラマティックなアリア。

そして修道院に入ると決めたフランチェスカにパオロが最後に会いにくる場面から、ふたりが死に至るフィナーレまで、物語は息もつかせぬ緊迫感で進んでいきます。

## あらすじ

ラヴェンナ・ポレンタ家の娘フランチェスカは、政略結婚でリミニのマラテスト家嫁ぐことになった。花嫁を迎える使者として現れたのはランチョットの弟で美男のパオロ。しかしリミニに着いてみると本当の結婚相手はその兄、ランチョットだった。嫁いでからも彼女はパオロのことが忘れられず、極力パオロと会うことを避けていた。また、妻に愛されないと感じるランチョットも苦しんでいた。そしてフランチェスカを忘れられずにいたパオロも戦地から戻って彼女と再会する。そしてアーサー王の妻グィネヴィアと騎士ランスロットの恋愛物語の本が、抑え続けてきたフランチェスカとパオロに激しい恋心に火をつけてしまう。妻と弟に裏切られていたことを知ったランチョットは怒りと失望のあまり、ふたりに死を命じるのだった。

## 第1回ベルカントオペラフェスティバルインジャパン関連イベント♪ 入場無料(要整理券)

### メルカダンテ 知られざる歌曲

2019年3月18日(月)14:00

ラ・サーラ・スカラ  
(昭和音楽大学北校舎5階)

### ベルカント・コンサート

～カルメン・サントーロ女史のマスタークラス生による～

2019年3月22日(金)18:30

ユリホール  
(昭和音楽大学南校舎5階)

### ベルカント・シンポジウム

2019年3月26日(火)18:00

昭和音楽大学南校舎5階  
C511教室